

解剖訓蒙

脈管論

十

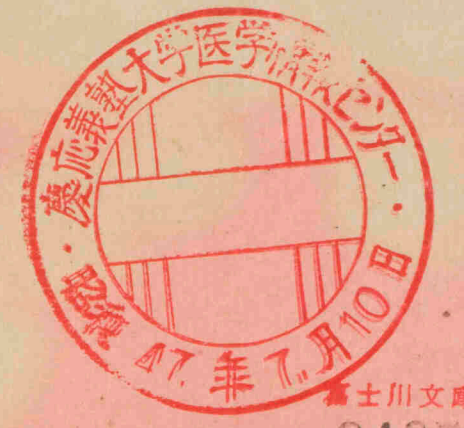
蘇州府蘇州府蘇州府

蘇州府蘇州府蘇州府

蘇州府蘇州府蘇州府

491.1  
Ka-2  
10

No. 787



富士川文庫  
2437

明治五壬申年發閱

# 解剖訓蒙

啟蒙義舎藏版



解剖訓蒙卷之十一

朱利堅 解剖學教頭約瑟 列第著

日 本 文 部 大 助 教 橫 井 信 之 譯

## 脈管論

### 心臟

心臟 トヘルハ、血液循環ノ樞機ニシテ、大ニ發血力

ヲ具有シ、胸腔内ニ在リテ、纖維様清膜即チ心囊之ヲ

裹包ス其位置ハ、兩肺ノ間々、横膈ノ上ニ於テ、右

側ヨリ、左側ニ偏タヨリ、而テ稍ヤ斜傾ス、其形式

ハ、圓錐狀ニシテ倒垂シ、唯々底面ノミ、血管ノ媒

甲  
カルジス

解剖訓蒙 卷之十一

甲 マクロ

乙 マグノ、オプトシユス

丙 マグノ、アクキユス

介ニ由テ、脊椎柱ノ前面ニ繋連ス、故ニ基礎ノ他ハ、全ク遊離シテ、附着スル所無シ、

心臟底面 スベハ、上後方及ヒ右側ニ向ヒ、殆ト背

椎ノ第四片ヨリ第八片ニ達シ、尖端 ア ポ イ ン ト又

ハ前下方及ヒ左側ニ向ヒ、肋軟骨ノ第六片ニ對

シ、前面 ア ン テ リ オ ル、ハ、圓ク凸隆シテ、上前方ニ向

ヒ、後面 サ ハ ス ヘ イ ス、ハ、扁平ニシテ、横膈ニ接シ、左

縁 レ フ ト、ボハ、頗ル鈍ニシテ、斜ニ上方ニ向ヒ、右

縁 ラ デ イ ル ト、ボハ、稍ヤ長シテ斜ニ下方ニ向フ、

心臟ハ、空竅ナル一肉塊ニシテ、内位及ヒ外表共

甲 シユルクス、ロンギユチ  
デナールリス、

丙 アトリア、  
全 シニユス、  
全 コル、ヘノシユス、

丁 セプチム、アントリム、

ニ、被膜ヲ具有ス其色ハ、黧黒ニシテ、膜様白線、或

ハ班点ヲ呈セリ、又屢、脂肪組織ヲ存ルヲ以テ、黄

色ナルヲアリ其重量ハ、殆ト十子、其丈ハ、殆ト五

イ ン チ、其幅ハ、殆ト三、イ ン チ半ナリ、外表ニ 縦 横

ノ二溝アリテ、内位ノ四個ナルヲ證ス、是即千二

個ノ心耳及ヒ心室ナリ、以下之ヲ辨説ス、

心耳 ク ア ル ウ リハ、空竅且ツ薄壁ニシテ、即チ心ノ底

部ヲ造成ス、蓋シ其前方ニ、耳狀屬部ノ突出スル

ヲ以テ名ク其内位ニ 中 隔 ア リ テ、左右ノ二部ニ

區別セラレ、各、大静脈幹ト連結ス、大 静 脈 幹 ト ハ、  
上 下 大 静 脈、及

ヒ、肺静脈ニシテ、血液ヲ身体諸部ヨリ受ケ、心臓ニ統販スル者ナリ、

心耳ハ心耳室孔キオキラリル、オリハイスヲ以テ、心

室ト相通シ、此孔ニ著明ナル器械的ノ瓣ヲ具有

シ、以テ血液ノ逆流スルヲ抗拒ス、然レ其順流

シテ、心耳ヨリ心室ニ下降スルニ於テハ、少モ障

碍ナキナリ、

心室クルストリ、ハ、厚壁ノ空竅ナリ、殊ニ其尖端ハ、

最モ厚部ヨリ造成ス亦タ内位ニ中隔アリテ、左

右ノ二部ニ區別セラレ、各、大動脈幹ト連続ス、大

動脈幹トハ、肺動脈、及ヒ大動脈ニシテ、血此幹口ニ、

甲 オステユム、アントリヲ、  
ブエントリキラー、  
全 オステユム、ヘノシエス

乙 ノエントリキラー、  
全 コル、アテリオシユム、

甲 アトリユム、デキストリユム

乙 アウリキユロ、コルジス、  
デキストラ、

丙 タラベキユラ、カル子

著明ナル三瓣列張シ、以テ血液ノ心室ニ逆流スルヲ抗拒セリ

右心耳リクイル、ハ、長形ナル空竅ニシテ、一方ノ

端ニ、三角形ノ稍ヤ鋸齒縁ナル耳狀屬部クル、ア

ジベンデヲ有ス此部、前方ニ向ヒ、大動脈起根ノ外

側ニ於テ、展延突出セリ其壁ハ、至薄透明ナレハ、

前外部、及ヒ耳狀屬部ニ於テハ、甚タ厚ク、且ツ突

兀トシテ不齊ナリ、是レ他ナシ、其内位ニ、筋纖維、

即チ櫛筋トベクチアリテ参差離居スレハナ

リ然レ其自餘ノ内面ハ、頗ル滑澤ナリ、

右心耳ノ後方ニ於テ、上下ノ大靜脈管開口シテ、  
 共ニ前方ニ向ケリ、故ニ其中間ニ於テ、心耳内面、  
 稍ヤ隆起ノ鈍角ヲ呈ス、之ヲ「ロウエリ氏」ノ結節  
 ト稱ス、此兩口ハ、共ニ無瓣ナリ、然レ氏、其管ノ方  
 向、自ラ血液通過ノ便ニ供スルヲ以テ、逆流ノ虞  
 アラス、唯夕環收ノ時、其血流互ニ交叉シテ、統歸  
 スルノミ、  
 右心耳ノ内面ニシテ、左心耳トノ中隔ニ於テ、至  
 淺ナル壓痕アリ、**卵圓窩** ルヲバ、ホッサート 稱ス、其周縁隆  
 起シテ圍擁セリ、此窩ハ、胎兒ノ時ニ、兩心耳交通

甲  
 ロ、レ、ヒ、ユ、ラ、エ、ウ、ス、タ、キ、

セシ、**卵圓孔** ホラバ、ノシル ノ蹤蹟ナリ、此窩底ノ至薄  
 透明ナル部ハ、當時ノ卵圓孔ノ瓣ニシテ、血液ノ  
 逆流ヲ防禦セシ者ナリ、又屢、此窩ノ上部ニ於テ、  
 斜ナル裂痕ヲ有セリ、亦、當時ニ、兩耳ノ交通セシ  
 一部ナリ

胎兒ノ時ニ於テ、膜様ナル新月形ノ皺襞、所謂 **エ**  
 ウスタキ氏 **瓣** ナル者アリ、下大靜脈ノ右側ヨリ  
 延展シテ、其前縁ニ沿ヒ、卵圓孔ニ達シ、以テ彼ノ  
 脉管ヨリ卵圓孔ニ通過スル、血液ノ循行ヲ助ケ  
 リ、此瓣ハ、大人ニ至ルモ、尚其殘痕ヲ見ルヘク、而

甲 アトリユム、シニストリユム、  
デキストラ、

乙 アトリユム、シニストリユム、

テ多少網狀ノ穿孔ヲ貽スヲ通常トス  
此瓣ノ左端ト心耳室孔トノ間ニ於テ、冠靜脈孔  
アリ、其内ニ新月様瓣ヲ以テ擁護セリ、又々右心  
耳ノ内面ニ於テ、小靜脈ノ數孔アリ

右心耳室孔 ライイト、オトリキユロ、グエン  
ト、ハ、下行大

靜脈孔ノ前方、及ヒ左側ニ在リ、其形、橢圓ニシテ、  
徑度、殆ト一「イ」ニチタリ、其孔内ニ於テ、滑沢ノ稍  
隆起シタル周縁アリ、是レ三尖瓣ノ附着スル所  
ナリ、

左心耳 レフト、オウ  
ハ、圓錐形ノ空竅ナリ、亦々前方

ニ於テ、稍ヤ長キ鋸齒縁ノ耳狀屬部 オウ  
ル、アペツ  
ンラ

デシ アリ、此部、突出且ツ展延シテ、肺動脈起根ノ

左側ニ至ル、其壁ハ、右心耳ニ比スレハ、稍ヤ厚シ

テ透明ナラス、其内面ハ、滑澤ナレ氏、耳狀屬部ニ

於テハ、**櫛筋** ト、ペク  
ト、マク  
チ子  
ルヲ有スルカ故ニ、亦々突

兀トシテ不齊ナリ、

左心耳ノ後部ニ於テ、四個ノ肺靜脈開口セリ、各側

共ニ、二箇ノ靜此脈口皆十無瓣ナリ、内位中ニテ、

前下方ニ於テ、**心耳室孔** アリ、其造構ハ、右心耳ニ

同シトス、

甲  
フエントリクル、テキストル  
全  
コル、ホルモナール、

乙  
セフテム、フエントリキユ  
ロリユム、

丙  
コル、ユナ、カル子  
全  
トラベキユラ、カル子、

甲  
マスキユリ、パピラール

乙  
オス、テウム、アトリキユ  
ントリキユラール、デキ  
ストリユム、

丙  
ワルビユラ、トリキユス  
パイド、  
丁  
コル、ダ、テンジニ、

右室<sup>甲</sup> トライクト、フエン<sup>ハ</sup>、三角形ニシテ、左室ニ較レハ、  
 心ノ前面ニ位ス其底面ハ、上後方ニ向テ、右心耳  
 ニ連続ス、其頭角ハ、前下方ニ向フ、然レ氏全ク心  
 ノ尖端ニ達セス、其壁ハ、稍ヤ薄シテ、殆ト一「イン  
 子」ノ四分一タリ、而テ左方ノ壁、即チ兩室ノ「中隔」  
 パルチ<sup>ハ</sup>、内位ニ彎隆ス、故ニ右室ヲ横斷スレハ、  
 恰モ新月様ヲ呈セリ、  
 右室ノ内面ニ於テ、無數ノ圓キ突出セル筋纖維  
 あり、之ヲ「筋柱」<sup>丙</sup>コカヘルムノス、ト稱ス、其大小及ヒ  
 方向ハ、各柱同シカラス此柱ハ、壁面ノ一部ヨリ

起根シテ、他部ニ附着シ、互ニ錯綜交叉セリ、故ニ  
 内面甚タ突兀トシテ不齊ナリ、  
 筋柱ニ、尤モ巨大ニシテ、且ツ乳頭形ノ者アリ、  
 頭筋ト稱ス、亦タ壁面ヨリ突出シ、而テ細キ「腱索」  
 テ、コンジドノ「ヲ」以テ、三尖瓣ノ游離縁ニ附着ス、  
 右心耳室孔<sup>乙</sup>ライキユト、オリキユロ、ブエント<sup>ハ</sup>、室ノ底  
 面ノ下後部ニ在テ、其縁ヨリ廣キ膜様ノ皺襞突  
 出セリ此皺襞ハ、不正ニ分裂シテ、三個ト為ル、故  
 ニ「三尖瓣」<sup>丙</sup>トトリキユス、バト稱ス、此瓣ノ下部、即チ遊  
 離縁ハ、數條ノ「腱索」ヲ以テ、彼ノ乳頭筋ト、其間隙

離縁ハ、數條ノ「腱索」ヲ以テ、彼ノ乳頭筋ト、其間隙

トニ繋維ス此瓣ハ孔ノ開披スル時ニハ其分裂ノ部各直立シテ殆ト室壁ニ抵触ス三尖瓣及ヒ腱索ノ造構ハ心ノ裡膜ノ重襞ヨリ造成ス其質ハ纖維組織ヲ含蓄スルヲ以テ強剛ナルヲ得タリ

右室底面ノ前角ニ於テ肺動脈其起根ヲ取ル此脈孔ハ三個ノ半月瓣ヲ以テ擁護ス此室ト此脈ト交通スル裡面ハ頗ル滑澤ニシテ毫モ血液流通ノ障碍ヲ為サス

件ノ半月瓣ハ膜様ノ重襞ニシテ脈孔ノ内圍ニ

甲  
ワルサルバ氏ノシニユス

羅列ス而テ其隆起縁即チ基礎ハ脈壁ニ附着シ

其遊離縁即チ末端ハ脈心ニ放在ス而テ各瓣共

ニ上面ノ後方即チ基礎ニ於テ此脈管擴張シ乃

チ甲淺灣一名小坳ヲ造為ス故ニ各瓣直立シテ上

向スレ氏脈壁ニ抵粘セス加之逆流ノ血液ヲ瓣

ノ後部即チ淺灣ニ受容シ其血勢ノ壓迫ヲ以テ

閉鎖ノ機能ヲ助成セリ

半月瓣ハ血管ヲ富有セル裡膜ノ重襞ヨリ造成

スル者ニシテ其質中ニ強剛ナル纖維組織アリ

此組織各瓣共ニ其遊離縁ノ正中ニ於テ小粒モ

甲  
フエントリキユリス、シ  
ニストル、

ガ<sup>ル</sup>ニ<sup>一</sup>氏  
 結節ト云フヲ凝為ス此小粒鎖瓣ノ時ニ各瓣ヨ  
 リ會合シテ恰モ品字形ヲ呈シ以テ閉鎖ノ中点  
 ト為レリ各瓣共ニ游離縁ノ兩端ト其小粒トノ  
 中間ニ於テ織微ナル新月様ノ切凹部アリ是レ  
 纖維組織ノ不足スルヨリ成レリ然レモ鎖瓣ノ  
 時ニ於テハ其切凹部互ニ對着シテ全ク血液ノ  
 漏洩スルヲ防禦ス蓋シ血液逆流ノ勢ハ特ニ瓣  
 纖維ノ強剛部ヲ以テ抗拒スレハナリ

左<sup>甲</sup>室  
 ト<sup>レ</sup>フ<sup>ト</sup>、<sup>ブ</sup>ン  
 ト<sup>リ</sup>ク<sup>ル</sup>ハ、圓錐形ニシテ其底面ハ心耳  
 ニ連接シ其頭角ハ心ノ尖端ヲ造成ス其丈ハ右

甲  
オステウム、ヘキシム、シ  
ニストリウム

乙  
ワルフル、ヒキユス、ヒタ  
リス

室ニ較レハ長ク而テ頗ル心ノ後部ヲ領ス其壁  
 ハ厚シテ殆ト右室ニ三倍ス故ニ横斷スレハ斷  
 口恰モ環狀ヲ呈セリ其内面ハ亦々無數ノ強剛  
 ナル筋柱カ<sup>ル</sup>子<sup>ラ</sup>スヲ具有ス其柱頗ル錯雜乱  
 布セリ而テ二個或ハ三個ノ乳頭筋パ<sup>ピ</sup>ラ<sup>ス</sup>  
 ヲ具有ス亦頗ル強剛ナリ

左<sup>甲</sup>心耳室孔  
 リ<sup>レ</sup>フ<sup>ト</sup>、<sup>オ</sup>ル<sup>ハ</sup>イ<sup>ス</sup>  
 後部ニ在テ其内圍ニ一對ノ膜様皺襞ヲ具有ス  
 是レ即チ帽子瓣ミ<sup>ト</sup>ラ<sup>ナ</sup>此瓣ノ器械的功  
 用ニ至テハ所謂三尖瓣ニ同シ只稍ヤ強剛ノ差

アルノミ、

此室孔ノ前右側ニ於テ、大動脈孔アリ、其内圍ニ、

半月瓣ルセミリユナヲ具有ス、其盾ハ、肺動脈孔ノ

同名瓣ニ異ナラス、亦只々剛強ノ差アルノミ、

心胞心一各

心胞シペリカハ、二層ノ纖維清膜囊ニシテ、即チ

心臓ヲ全裹ス、其形ハ、心ニ準シ、其色ハ、藍白ナリ、

而テ結締織ニ由テ、左右ハ側壁ノ胸膜、下方ハ横

隔ノ臑部ニ附着セリ以下之ヲ辨説ス、

外纖維層エキステリヲエルハイハ、其造構ハ、纖維

甲ペリポール、  
全カツプシユル、

乙ハイブロー、ス、ペリカ  
ルジウム、

組織ノ錯綜且ツ絞束シテ、多ク縦經ニ羅列シタ  
ル膜ナリ、其盾ハ、強韌ニシテ、擴張展延ス可カラ  
ス此層、心ノ底面ニ於テ、大血管ノ起根ヲ被覆シ、  
其管ノ外層ト連続ス、

内清膜層インテルナールセハ、其造構及ヒ編列

ハ、他ノ諸清膜ニ同シ、而テ心臓及ヒ大血管ノ起

根ヲ密裹シ、心ノ底面ヨリ轉シテ、纖維膜ノ内面

ニ翻展ス、

二層ノ腔間ハ、對向シタル滑沢面ニシテ、駁々ノ

清液恒ニ滋潤ス、因テ心胞液ペリカル、コトト稱

甲ヒロー、ス、ペリカルジウム

乙ヒロー、ス、ペリカルジウム

ス蓋シ其清液ハ、心臟運動ノ便ニ供スル者ナリ、

動脈

動脈 ア リ テ ハ、二個ノ大幹、及ヒ數支ヨリ造成セ  
リ其一幹、即チ大動脈ハ、諸支ヲ細別シ、以テ血液  
ヲ身体ノ諸部ニ輸送シテ、諸器ヲ給養ス、其一幹、  
即チ肺動脈ハ、血液ヲ兩肺ニ輸送シテ、新鮮氣ヲ  
吸收セシム、

大動脈

大動脈 ア オ ハ、動脈系ノ總幹ニシテ、血液ヲ全身  
ニ賦與ス其幹、心ノ左室ヨリ起リ、斜ニ背椎ノ右

甲 アーテリア、マグナ  
全 ア、マキシム

甲 アーキユス、アナルタ

側ヨリ、左側ニ上リ、迴轉シテ漸次ニ下リ、腰推ノ  
第四片ニ達シ、分岐シテ二條ノ普通腸骨動脈ト  
爲ル其經過中、初部ヲ大動脈弓ト稱シ、下行部ハ  
通渉ノ處ニ從テ、胸腔大動脈、腹部大動脈ト稱ス、

大動脈弓

大動脈弓 ア チ ヲ ス、ハ、心ヨリ起リ、稍ヤ右側ニ

傾テ、後方ニ向ヒ、斜ニ上行シテ、右肺動脈及ヒ左  
氣管支ヲ越ヘ、左側ニ彎曲ス、而テ下テ、背椎第三  
片ノ左側ニ達シ、胸腔大動脈ト爲ル蓋シ其起初  
ハ、肺動脈ノ起根、及ヒ右心耳ノ耳狀屬部ニテ被

ハレリ、今其部ヲ露裸ニ見レハ、球状ヲ呈ス是レ  
 所謂半月瓣後ノ小坳ナリ、上行部ハ、其後方  
 ハ右肺動脈及ヒ靜脈、右側ハ上大靜脈、左側ハ肺  
 動脈幹ト隣列ス、横行部ハ、肺動脈分岐ノ地ニ位  
 シ、而テ其上方ハ左無名靜脈、後方ハ氣管ノ分岐  
 前面ハ胸骨ノ上部ト隣列ス、下行部ハ、其右側ハ  
 食道及ヒ胸管、左側及ヒ前面ハ左肺ノ根底ト隣  
 列ス、右側ニ於テ、屢、歴然ト擴張シテ、恰モ動  
 脈瘤ノ初起ニ似タルコトアリ、假令稀證タル氏、決  
 シテ病体ニ非ス、右側ノ頂上ヨリ、數條ノ大血管ヲ

生シ、頭部及ヒ上肢ヲ營養ス、而テ右側ノ下行部ハ、  
 其内徑ヲ漸次ニ減狹ス、右側ノ下行部ハ、  
 大動脈ヲヨリ分岐スル所ノ諸支、及ヒ其列序ハ、  
 即チ左ノ如シ、

右冠動脈 左冠動脈 無名動脈 右普通頸動脈 右

鎖骨下動脈 左普通頸動脈 左鎖骨下動脈 是レナリ

蓋シ冠動脈ハ、各側ニ在テ、半月瓣ノ直上部ヨリ  
 起リ、心ノ壁面ヲ營養ス、其他ノ三支ハ、各、並列シ  
 テ、右側ノ頂上ヨリ起リ、頭部及ヒ上肢ニ循行シテ、

其部ヲ營養セリ、以下之ヲ辨説ス、

冠動脈

右冠動脈 ラ、アイト、コロナリハ、大動脈ノ右、半月辨

ノ直上部ヨリ起リ、横溝 右側ノ心耳ト、心

ニテ、後縦溝 ニ、アリ、ヲ循行

ノ尖端ニ進ミ、左冠動脈ト合吻シ、以テ心ノ右側、

及ヒ左室ノ後部ヲ營養ス、

左冠動脈 レ、フト、コロナリハ、大動脈ノ左側ヨリ

起リ、前方ニ向テ、肺動脈ト、左心耳ノ耳屬部トノ

間ヲ過キ、分歧シテニ枝ト為ル、其一ハ、前縦溝 兩

甲  
アテリア、コロナリ  
ア、デキストラ

乙  
アテリア、コロナリ  
ア、シニストラ

甲  
アテリア、インシニタ

間ニ下テ、心ノ尖端ニ達シ、以テ右冠動脈ト合  
吻ス、其一ハ、横溝 左心耳ト、右室ヲ循行シテ、心ノ  
後部ニ至リ、亦タ右冠動脈ト合吻ス、

無名動脈

無名動脈 アイ、ン、テ、リ、ニ、タ、ハ、 心頂ノ三支別中ハ、第

一支ニシテ、頭頸及ヒ上肢ノ一側ヲ營養ス、故ニ

其功用、他ノニ支ト相通ス、其文々、殆ト一、イン、

半ニシテ、其根ハ、即チ心頂ヨリ起リ、氣管ノ前部

ト、左無名靜脈ノ後部トノ間ニ於テ、斜メニ右側

ニ上リ、右ノ胸鎖關節部ニ於テ、ニ支ニ分歧ス、其

一ハ右鎖骨下動脈ニシテ、一ハ右普通頸動脈ナリ或ル異變證ニ於テハ、無名動脈ヨリ、左普通頸動脈支ヲ分出スルナリ、又屢、他ノ二支ノ如ク、亦タ固ヨリニ支ニシテ、即チ直ニ大動脈ヨリ起ルナリ、是レ無名動脈ニ代ル者ナリ、

普通頸動脈

甲 アカロチス、マ、ス、デキストラ

右普通頸動脈 ライト、コンモンカハ、無名動脈ヨ

リ、分岐シタル一支ニメ、頸部ニ上リ、喉頭ノ上縁

ニ達シ、又タ分岐シテ、内外頸動脈ト爲レリ、

左普通頸動脈 ロフト、コンモンカハ、大動脈ヨ

乙 アカ、コ、シニストラ

リ起リ、直ニ無名動脈ニ並列シ、而テ相比スレバ、稍長シテ深く、且ツ直線ニ位ス、然レ氏其支別ノ景况、及ヒ所在ニ至テハ、殆ト相似タリ、

普通頸動脈 ト、コンモン、テリ、カ、ロ、チ、ハ、頸部ニ上テ、頸推

前部ノ筋上ニ安置ス、其内側ニ於テハ、気管、喉頭、

及ヒ食道アリ、外側ニ於テハ、内頸静脈アリテ、共

ニ其鞘ヲ同シ、尙オ其中間ニ、肺胃神経ヲ挿挿ス、

後方ニ於テハ、大交感神経アリ、前面ニ於テハ、肩

胛骨筋ト交叉シテ、胸骨乳頭筋ニテ被ハル、此

動脈ハ、支別セヌシテ、喉頭ノ上縁ニ達シ、初テ二

乙 アーテリ、ガ、ロ、チ、ア、ス、全、アーテリ、ハ、カ、ヒ、ター、レス

支ニ分岐ス、一ハ即チ外頸動脈ニシテ、一ハ即チ内頸動脈ナリ、

外頸動脈

外頸動脈 甲 エキス、テ、ル、カ、ハ、各側ニ在テ、喉頭ノ上縁ヨリ起リ、殆ト直線ニ上行シテ、下顎頭ト聴道ノ間ニ達シ、分岐シテ、頰顙動脈、及ヒ内腭動脈ト為ル、其位置ハ、内頸動脈ノ前、及ヒ内側ニ於テ、咽頭ト交叉ス、其起根ハ、頰莢、頸皮筋、廣頭筋、及ヒ外皮ニテ被ハレ、進テ錐頰舌骨筋、二腹筋、及ヒ舌下神經ト交叉シ、次ニ耳下腺ノ實質ニ竄入シ、

甲云、口子ス、エキ、テ、ル、カ

顔面神經ト交叉ス、此脈ハ、腦及ヒ眼窩内ノ容積

按スルニ、眼球、及ヒ筋、ヲ云フ、除ク、他ハ、頭顙中ニ於テ、處

トメ、栄養セサルハ、無シ、

外頸動脈ヨリ、分岐スル所ノ諸支、及ヒ其列序ハ、

即チ左ノ如シ、

上甲狀動脈、舌動脈、咽頭動脈、顔面動脈、枕骨動脈、

耳後動脈、筋肉支、耳下腺支、顙顙動脈、内腭動脈、是

ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一 甲 上甲狀動脈支、シユ、ペ、リ、オ、ル、チ、リ、ロ、ハ、外頸動

脈起根、直ニ上前部ヨリ起リ、斜ニ前内方ニ向

甲云、イ、ロ、イ、ド、シ、リ、カ

甲 ラミユスハイライド

乙 ラミユスモスキユリス

丙 ラミユスラリキ

ヒ、下テ甲状腺ニ達シ、而テ他ノ此部ヲ栄養スル  
動脈ト合吻ス此脈通過ノ間肩胛舌骨筋ト交叉  
ス其分出ノ諸支ハ、舌骨支、筋肉支、喉頭支、是ナリ、  
天 舌骨支 ハ、小支ニシテ、舌骨ノ側  
面ニ循リ、即チ其部ヲ栄養ス、蓋シ此支ハ、舌  
動脈ヨリ来ルアリ、

地 筋肉支 ハ、胸骨乳頭筋、及ヒ舌  
骨、喉頭ノ舉沈筋等ニ分布ス、

人 喉頭支 ハ、甲状舌骨膜ヲ穿過  
シテ、喉頭ノ小筋、及ヒ粘膜ヲ栄養ス、

ア テリ、リキテリス

第二 舌動脈 ハ、第一支ヨリモ、巨大  
ニシテ、直チニ其上ヨリ起リ、舌骨ノ側面ト、一線  
ヲ為シ、其大角ノ上部ヲ過キ、舌舌骨筋ト、咽頭中  
収閉筋ノ間ニ上行シテ、舌ノ下部ニ達シ、進テ舌  
端ニ至ル其分出ノ諸支ハ、舌背支、舌下支、蝦蟇支、  
是ナリ、

乙 アドルサ、リニガ

天 舌背支 ハ、舌根ヲ栄養ス  
ドルサル、アール、テリ、ギユ

地 舌下支 ハ、口床筋、  
シユブリンギユ、アール、ハ、腮舌骨筋、  
此支、屢、數條ノ小血管ヲ以テ代ルアリ、

丙 舌下腺 ノ間ヲ過キ、諸支ヲ分出シテ、即チ其

丙 アーテリ、シテリニガ



層及ヒ廣頸筋ニテ被ハレ、口角ニ於テハ、口角沈筋及ヒ衡骨筋ニテ被ハル此脈ノ主要支別ハ、下口蓋支、扁桃支、下脣支、腮下支、下冠狀支、上冠狀支、筋肉支、鼻側支、眼角支是ナリ、

ア、パリンゴ、バラチナ

イ 下口蓋支

アトニシテ、パリンゴ、バラチナ、ハ、咽頭ノ側方

ヲ上リ、諸支ヲ分出シテ、内翼狀筋、錐頰諸筋、扁桃腺、エウス、タキ氏管、軟口蓋ノ諸筋、及ヒ粘膜等ニ循行ス此支時トシテ、咽頭動脈ノ一支別ナルコトアリ、

ア、テリド、シラリス

ロ 扁桃支

アトニシテ、テリド、シラリス、ハ、咽頭ノ側面ヲ上リ、

甲 ラミナ、グランデユラ  
リス

ハ 下脣支

シユ、グマ、キシラリス、ハ、頰ル小血管支ニ

乙 ア、テリ、シユ、フメ  
ンタリス

ニ 腮下支

シユ、グマ、キシラリス、ハ、以上ノ三支ニ比ス

レハ、稍大ニシテ、前方ニ向ヒ、二腹筋ト、口床筋トノ間ヲ過キ、腮ヲ循リ、下冠狀動脈ト合吻ス其經過中、即チ下脣腺、腮部ノ諸筋、及ヒ腮ヲ栄養ス、

丙 ア、コロナリア、イン  
ヘリチル

ホ 下冠狀支

アトニシテ、コロナリア、イン、ハ、顔面動脈ノ

口角部ヨリ起リ、前上方ニ向ヒ、口角沈筋ノ下

甲 ア、コナリ、ソペリラル

面ヲ過キ、下脣輪狀筋口圍ニ竄入シ、迂曲シテ、他側ノ同名動脈ト合吻ス、

〔へ〕上冠狀支 ソヘリラルコナリハ、前支ニ相接

シテ起リ、迂曲シテ、上唇ヲ循リ、他側ノ同名支

ト合吻シ、以テ上唇ヲ營養ス別ニ一支ヲ生シ

テ、鼻中隔ヲ營養ス、

〔ト〕筋肉支 モスキュラールハ、數條ノ小支ニシテ、

其數一定セス、蓋シ口角沈筋、咬筋、頰筋、衡骨筋、

其他諸筋ヲ營養セリ、

〔チ〕鼻側支 ラテラールナサハ、内方ニ向ヒ、鼻側

内 ア、ナサリヌラテラリス

乙 ラ、モスキュラール

ヲ營養ス此支屢無數ノ小支ヲ以テ代ルコト

アリ、

〔リ〕眼角支 アンギュラールハ、顔面動脈ノ末支ニ

シテ、眼動脈ノ諸支ト合吻ス、

第五枕骨動脈 チキビタールハ、外頸動脈ノ后部

ヨリ起リ、其起根ハ、始ト第四支ニ同シ、而テ后方

ニ向ヒ、乳頭部ニ附着スル衆筋ノ下面ヲ過キ、夾

板筋ト錯綜筋ノ間ヲ經ヘ、僧帽筋ノ枕骨附着部

ヲ穿チ、上テ枕骨部ノ皮下ニ達シ、分岐シテ、數支

ト爲リ、以テ耳后動脈、及ヒ顳顬動脈ト合吻ス此

甲 ア、アンキユラリス

乙 ア、テリア、チキビタリス

甲 ラミ、モスキュラリス

脈、經過中ニ、三支ヲ分出ス、即チ**筋肉支**、**降頭支**、**腦膜支**是ナリ、

**天** 甲 **筋肉支**

ル、ブレンチハ、胸骨乳頭筋、二腹筋、及

ヒ其他ノ諸筋ニ蔓布ス、

**地** 乙 **降頭支**

カ、デッセル、ア、テリルハ、頭ノ右部ヲ下

リ、細別シテ數支ト爲リ、錯綜筋、夾板筋、及ヒ其

他ノ諸筋ヲ營養ス、

**人** 丙 **腦膜支**

ル、メ、ブレンチハ、頰ル小支ニシテ、上

テ頭孔ヲ過キ、厚腦膜ニ分布ス、

**第六** 丁 **耳後動脈**

ホ、ス、テリル、ア、テリルハ、小支ニシ

丁 ア、ホーリキュラリス  
ホステリチル

丙 アーテリア、メンジエ

乙 アセルヒカル、テセンズ

甲 ラミ、モスキュラリス

テ、第五支ノ稍ヤ上ヨリ起リ、耳下腺ノ下部ト乳

頭部ノ間ヲ過キ、頭側ニ上テ、耳后ニ循リ、數支ニ

分岐シテ、耳后ヲ營養シ、而テ枕骨動脈ト合吻ス

此脈、經過中ニ、最要ナル一小支ヲ分出セリ、是即

チ**錐額乳頭動脈**

イ、スタ、アイロ、テリルニシテ、同名孔

ニ入り、上テ鼓室、耳竅内容、及ヒ乳頭竇ヲ營養ス

**第七** 甲 **筋肉支**

グ、レ、ス、キ、ユ、ラ、スハ、外頭動脈ノ分支ニ

シテ、其位置、大小、常ニ同シカラス、蓋シ胸骨乳頭

筋、咬筋、及ヒ翼狀筋等ヲ營養ス、

**第八** 乙 **耳下腺支**

レ、ハ、ノ、チ、ツ、ト、グ、ハ、小支ニシテ、外頭動

乙 ラミ、パロチット

甲 アーテリヤ、テムホラリス

脉其腺ヲ通過スル時ニ、分出シタル者ナリ

第九 顳顬動脈 アテンテリラル、ハ、外頸動脈ノ顯然

タル末梢ニシテ、耳前ニ於テ始リ、耳下腺ヲ穿透

シ、顳顬ニ上リ、外皮及ヒ顳顬筋莖ノ間ニ占地ニ衡

骨ノ稍、上部ニ於テ、二支ニ分岐シ、頭側ノ皮下ニ

蔓布ス此脉ノ分支、及ヒ末梢ハ、横行顔面支、耳前

支、上眼窩支、中顳顬支、前顳顬支、后顳顬支、是ナリ

イ 横行顔面支 アタランスヴェルサ、ハ、耳下腺

内ニ於テ、顳顬動脈ヨリ起リ、咬筋ヲ横行シテ、

衡骨ト、耳下腺管 ステノノ間ヲ過キ、頰上ニ達

乙 ア、タランスヴェルサ、ハキーエー

甲 ア、オーリキユラリス、アンテリヲル

シ、耳下腺、咬筋、眼瞼輪狀筋及ヒ其他ノ諸筋ヲ

栄養シ、眼動脈、顔面動脈ノ諸支ト合吻ス蓋シ

此支ハ、屢、數條ノ小支ヲ以テ代ルヲアリ、

ロ 耳前支 アアンテリヲル、アテリハ、數條ノ小支

ニシテ、耳前及ヒ聴道ニ分布ス、

ハ 上眼窩支 シユプラ、アル、テリハ、衡骨上ヨリ起

リ、上眼窩縁ニ上リ、眼動脈、及ヒ前顳顬動脈ト

合吻ス、

ニ 中顳顬支 ミツドル、テンポラ、ハ、顳顬筋莖ヲ

穿行シ、顳顬筋ニ蔓布ス、

乙 ア、シユプラ、アル、ビタリス

丙 ア、テムホラリス、メシア

甲 アテムホリス、アテリル

角音言家

卷之十

ホ前顛顛支

ラアンルテリヲル、テンポハ、顛顛動脈

末梢ノ一支ニシテ、前上方ニ循リ、顛顛及ヒ額

ニ至リ、分岐シテ、數條ノ小支ト爲リ、頭皮及ヒ

其部ノ諸筋ヲ栄養ス、而テ眼動脈、右顛顛動脈

ノ諸支ト合吻ス、

ヘ后顛顛支

ホステリオル、テンハ、前支ヨリモ、

稍ヤ大ニシテ、頭側ヲ上右方ニ循リ、分岐シテ、

數條ノ小支ト爲リ、前顛顛動脈、耳右動脈、枕骨

動脈ノ諸支ト合吻ス

第十内腭動脈

ニランテルナール、マキハ、外頸動脈

乙 ステムホリス、ホステリル

丙 アマキシラーリス、インテリル

ノ大分支ニシテ、下腭頸ノ后部ヲ過キ、横行シテ

前方ニ向ヒ、内外翼狀筋ノ間ヲ過キ、稍ヤ上テ、

又々前内方ニ向ヒ、翼狀腭窩ノ上部ヲ循リ、分岐

シテ、二支ト爲ル、其一ハ、口蓋下行支ニシテ、其一

ハ、胡蝶口蓋支ナリ、此脈ノ分支及ヒ末梢分岐ハ、

鼓室動脈、大脳膜支、下腭支、筋肉支、上腭支、下眼窩

支、口蓋下行支、胡蝶口蓋支是ナリ、

子鼓室動脈

アランテリル、ハ、小支ニシテ、内腭動

脈起根ノ近傍ヨリ起リ、下腭關節ノ后部ニ上

リ、淺窩裂間ヲ穿過シテ、鼓室ニ蔓布ス、

甲 アーテリル、テムハ、ニク

解剖学

卷之十

甲ア、メニガマ、マクチ

解剖論

卷之十一

【丑】<sup>甲</sup>大脳膜支 アブルル、アトメニテリシ、前支ノ近傍ヨリ起リ、上行シテ蝴蝶骨ノ棘孔ヲ穿過シ、頭腔底ノ中窩ニ入ル、而後チ前外方ニ向ヒ、厚脳膜ト、顛顛骨ノ間ニ彎曲シ、分岐シテ、二支ト為ル。此支ノ上行シテ、厚脳膜ト、顛顛骨ノ間ニ分布スルヤ、其形チ、樹枝ニ髣髴タリ、是所謂顛顛骨内面ノ樹枝形壓痕ヲ為スナリ。而、厚脳膜及ヒ頭蓋ヲ榮養シ、此支、經過中ニ諸支ヲ分出シテ、口蓋挙筋、及ヒ張筋等ニ賦與シ、又タ三枝神經ノ半月狀節ニ賦與ス、

甲ア、マキニラリス、ヘリオ  
ア、デンタリス、イン  
ヘリオ

乙ラ、アルヘラリス

【寅】小脳膜支

スモル、アル、メニシハ、長圓孔ヲ穿

テ、頭顛ニ入リ、中窩ノ厚脳膜ヲ榮養ス。此支、屢前支ノ分支ナルヲアリ、

【卯】<sup>甲</sup>下腭支

ラインヘリオ、アリテリハ、内腭動脈ノ

一支ニシテ、脳膜支ニ相對シテ起リ、下テ下齒神經ト伴行シ、下腭齒管ニ入ル。此管内ニ通過スル間ニ、五個ノ齒動脈、

以テ諸齒ニ賦與ス、而テ腮孔ヲ出テ、腮部ニ於

テ、腮下支及ヒ下冠狀支ト合吻ス。此脈、將ニ齒

管ニ入ラントスル片ニ、分出シタル一支、齧齒

解剖論

卷之十一

甲 ラ、モスキュラリス

乙 ア、マキレリス、ソペリリス

線ニ走リ、以テ齒齦及ヒ口床筋ヲ栄養ス、  
 辰筋<sup>甲</sup>肉支<sup>ル</sup>モスキュラチハ、二個ノ翼状筋ノ間ニ  
 在リ、其數六條ナリ、尋常、翼状筋ニ循ル者二支、  
 顚顚筋ニ循ル者二支、他ノ一支ハ咬筋、其殘餘  
 ノ一支ハ、頰筋ニ循ルナリ、

巳<sup>上</sup>上腭支<sup>ソペリ</sup>ソペリ、アル、マキレシハ、内腭動脈ノ翼  
 状筋ノ間ヲ出ルキニ、分与セシ一支ニシテ、下

テ上腭骨ノ結節ニ至リ、數支ヲ分出シテ、齒齦

ニ賦與ス、其他ニ後齒支<sup>ポス</sup>ポス、テリオル、テリデン  
 分出ス、此分支、上腭ノ小孔ニ穿入シテ、上腭洞

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

甲 ア、インフラ、フルビタリス

乙 ア、パラティン、ソペリチル  
ア、テリゴ、パラティン

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

及ヒ齶齒ヲ栄養ス、  
 午<sup>下</sup>下眼窩支<sup>イル</sup>イル、アラ、テリビタハ、前支ニ接シ  
 テ起リ、下眼窩管ニ入テ、顔面ニ蔓布ス、此管内  
 ニ通過スル間ニ前齒支<sup>ア</sup>ア、ニテリオル、ア、テリ  
 分出シテ、前齒ニ賦与ス、其他ニ小支ヲ分出シ  
 テ、眼ノ下直筋、及ヒ斜筋ニ賦与ス、顔面ニ於テ  
 又數支ヲ分出シテ、下眼脰、及ヒ上唇ニ賦与シ、  
 而テ顔面動脈、及ヒ眼動脈ノ諸支ト合吻ス、  
 未<sup>口</sup>口蓋下行支<sup>デス</sup>デス、セン、ア、テリ、ハラハ、内腭動脈  
 末梢ノ一支ニシテ、後口蓋管ヲ過キ、下テ軟硬

甲 アナサリス、ボステリス

両口蓋ニ蔓布ス此脉ニ支ヲ分出セリ、其一ハ、  
 硬口蓋ノ前面ニ至リテ、前口蓋孔ヲ穿登シテ、  
 鼻ノ諸動脈ト合吻ス他ノ一支ハ、此脉起根ノ  
 邊ヨリ起リ、翼狀管ヲ廻通シテ、咽頭ニ達ス、  
 申胡蝶口蓋支スヘノ、ハラテイハ、内腭動脈ノ  
 第二支ニシテ、胡蝶口蓋孔ヲ穿テ、鼻腔ニ入り、  
 而テ一小支ヲ分出シ、咽頭ノ上部ニ右方ニ向  
 テ、翼狀口蓋孔ヲ過キ、又々分岐シテ二枝ト爲  
 ル、其一支ハ、鼻側壁、鼻床、及ヒ腭洞ニ分布シ、他  
 ノ一支ハ、下テ鼻中隔ヲ循リ、前口蓋孔ヲ穿下

甲 アカロチス、インテルナ

シテ、口蓋下行支ノ分支ト合吻ス、

内頸動脈

内頸動脈

インテルナル、カハ、脳及ヒ眼具ヲ榮

養スル者ニシテ、普通頸動脈ノ第二分支ナリ、殆  
 ト直線ニ上リ、顛顛骨ノ頸動脈孔ニ入り、裂孔ヲ  
 超テ、頭腔ニ入り、前方ニ向ヒ、胡蝶骨ノ体側ニ沿  
 ヒ、前床突起ニ達シ、轉シテ上方ニ向ヒ、腦ノ前中  
 両葉間ノ溝ヲ循リ、分岐シテ、前中脳動脈ト爲ル  
 此脉、頸部ニ在テハ、頸椎前筋上ニ安置シテ、一モ  
 支別スルヲナシ、而テ其内側ニハ咽頭前面ニハ

外頭動脈、外後方ニハ内頭靜脈、及ヒ第九對以下ノ腦神經アリ、胡蝶骨體側ニ在テハ、蜂窩竇ノ下壁内ニ埋没ス、前床突起ニ在テハ、厚脳膜ヲ穿テ、  
脳髓ニ達ス、

内頭動脈ヨリ、分岐スル所ノ諸支、及ヒ其列序ハ、即チ左ノ如シ、  
眼動脈、後結合支、脈叢支、前腦支、中腦支、是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一 眼動脈 チフザルニツキ、ハ、前床突起ノ地ニ在テ、内頭動脈ヨリ起リ、直ニ厚脳膜ニ入り、視神經

甲  
ア、テリ、ク、九、ビ、タ、リス

甲  
ア、ラ、ク、リ、マ、リス

孔ヲ穿テ、視神經ノ外側ヲ過キ、眼窩内ニ入り、迂曲シテ、視神經ノ上、即チ眼窩ノ内壁ニ至リ、分岐シテ、二支ト為ル、其一ハ、額支ニシテ、他ハ、鼻支ナリ、此動脈ノ分支、及ヒ末梢分岐ハ、即チ、  
涙腺支、網膜中心動脈、長毛様支、短毛様支、筋肉支、上眼窩支、後篩骨支、前篩骨支、眼臉支、額支、鼻支、是ナリ、

以、甲涙腺支 ラ、ク、リ、マ、リスハ、眼窩ノ外壁ニ沿ヒ、

涙腺ニ達シ、殊ニ其部ニ於テ分布ス、或ル他ノ支ハ、近隣ノ諸筋ヲ栄養シ、或ハ、顴骨孔ヲ過キテ、顔面動脈、及ヒ内膊動脈ノ支別ト合吻シ、或



甲 ア、エトモイダレス、ホ  
ステリナル

乙 ア、エトモイダレス、ア  
テリナル

丙 ア、メニダス、ア  
テリナル

丁 ア、パルペブラレス

角高詩家 卷之十

登<sup>甲</sup>後篩骨支 イポステリナル、アル、エトモハ、後篩骨孔

ニ穿入シテ、篩骨後房叢及ヒ厚脳膜ニ分布ス

知<sup>乙</sup>前篩骨支 アンテリナル、アル、エトモハ、前篩骨孔

ニ穿入シ、分岐シテ、厚脳膜ニ、脳膜支 アメルン

チ<sup>レ</sup>ヲ賦與シ、而テ他ノ一支、即チ前鼻支 アン

ナル、ナサール、ハ、鼻内ニ入り、篩骨板ノ前孔ヲ

通過シテ、鼻ノ前部、篩骨前房叢及ヒ洞等ニ分

布ス、

里<sup>丙</sup>眼瞼支 アパルペブラレス、ハ、眼動脈ノ支別ニ

シテ、内眥ヨリ起リ、分岐シテ、各瞼ニ蔓布ス、

甲 ア、シ、プ、ラ、ス、チ、ル、ビ、タ、リ、ス

乙 ア、ド、ル、サ、リ、ス、ナ、シ

丙 ア、コ、ム、ミ、ニ、ユ、カ、シ、ス、ホ  
ステリナル

丁 ア、コ、ロ、イ、ド、ア

奴<sup>丙</sup>額支 アフロンタール、ハ、眼動脈ノ末梢ニシテ、

内眥ニ當テ、眼窩ヲ出テ、額ニ上リ、筋下ヲ過キ、

而テ其部ノ諸筋、及ヒ皮膚ニ分布ス、

留<sup>乙</sup>鼻支 ナサール、アハ、眼動脈ノ一支ニシテ、内

眼瞼鞅帶ノ上ニ當テ、眼窩ヨリ鼻梁ニ下リ、眼

眥動脈ト合吻ス、

第<sup>丙</sup>二後結合支 カポステリナル、アル、コムニハ、内頰動

脈ノ小支ニシテ、後方ニ向ヒ、漏斗ノ側方ニ進ミ、

後脳動脈ト結合ス、

第<sup>丙</sup>三脈叢支 コロイド、アハ、内頰動脈ノ最小ナル

一支ニシテ、脳脚ノ外側ニ上リ、側室ノ下角ニ入リ、脈叢ニ分布ス、

甲 ア、セ、レ、ブ、リ、ア、ン、テ、リ、ヲ、ル

第四前腦支 アン、テ、リ、オ、ル、セ、レ、ブ、ハ、内、頸、動、脈、末

梢ノ一支ニシテ、大脳ノ縦溝ニ上リ、朕眈体ノ前

面ニ彎曲シテ、後方ニ向ヒ、脳ノ半圓ト、朕眈体ノ

間ヲ過キ、數支ヲ分与シテ、後腦動脈ト合吻ス、此

脈ノ起根ノ前部ニ於テ、前結合動脈 アン、テ、リ、オ、ル、

乙 ア、コ、ム、ミ、ニ、ユ、カ、ン、ス、ア、ン、テ、リ、ヲ、ル

コ、ム、ミ、ニ、ユ、カ、ン、ス、テリ、ア、一、ト、稱スル者アリ、其幹、一、レ、イ、ン、乃至二

レ、イ、ン、ニシテ、縦溝ニ横居シ、以テ他側ノ同名脈

管ト結合ス、

甲 ア、ホ、ツ、ザ、シ、ル、ビ、一

第五中腦膜支 ミ、ツ、ツ、ル、セ、レ、ブ、ラ、ハ、内、頸、動、脈、ノ、最

大支ニシテ、前中兩腦間ノ横溝 ウ、シ、ウ、ビ、ニ上リ、

分岐シテ二支ト為リ、即チ中腦ヲ榮養ス、

鎖骨下動脈

乙 ア、シ、ユ、ク、ラ、ビ、ハ、無、名、動、脈、ヨ

右鎖骨下動脈 ラ、イ、ト、シ、ユ、ク、ラ、ビ、ハ、無、名、動、脈、ヨ

リ起リ、外方ニ向ヒ、前中兩不齊筋ノ間ニ彎曲シ、

進テ第一肋ヲ越ヘ、乃チ腋下動脈ト為ル、此脈、右

鎖胸關節部ニ於テ、其前面ニハ、内頸鎖骨下兩靜

脈ノ湊合アリ、而テ又々肺胃神經ト交叉ス、上右

方ニハ、腋下神經叢、及ヒ大交感神經アリ、

左鎖骨下動脈レフ、アト、シユブクラビハ、大動脈弓頂ニ駢列シタル、第三支ニシテ、即チ其弓ヨリ直チニ起ルカ故ニ、右鎖骨下動脈ヨリモ、稍ヤ長ク且深処ニ位ス其直線ニ上行スルノ部ハ、殆ト無名動脈ノ全徑ニ均シ其他ノ經過ニ至テハ、右側ノ者ニ異ナルトナシ此脈、上行部ノ右側ハ、左普通頸動脈及ヒ氣管、前面ハ、肺胃神經ト關涉ス、稀異ノ證タリシカ、無名動脈、分岐シテ起ルトアリ、然ル片ハ、右鎖骨下動脈ハ、衆支ノ末位ニ在テ、直チニ大動脈弓ヨリ起リ、左方ヨリ右方ニ向ヒ、

食道ト頸椎ノ間ヲ過キ、而テ漸次ニ常式ニ歸セリ此動脈、其上行部ニ於テハ、一モ支別スルトナシ、然レモ、彎曲部ニ在テハ、諸支ヲ分岐スルト右側ノ者ノ如シ、即チ脊推動脈、**甲状軸**、**下甲状支**、**上肩胛支**、**横頸支**、**上行頸支**、**内乳支**、**上肋間支**是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一**脊推動脈**ル、ヴェルテブラーハ、鎖骨下動脈ノ最

大支ニシテ、普通頸動脈ノ后部ヲ過キ、頸椎第六

片ノ横突起孔ヲ穿チ、上行シテ、他椎ノ同名孔ヲ

過キ、頸椎初節ノ上關節突起ニ達シ、後方ニ循テ

枕骨孔ヲ過キ、頭腔ニ入り、後脳膜ヲ穿テ、延髓ノ側面ニ沿ヒ、上前方ニ進ミ、グワイロリ橋ノ下縁ニ達シ、左右相共ニ結合シテ、基礎動脈ト為ル、此脈ハ、間、大動脈弓ヨリ起ルヲアリ、斯ク異変スルヲハ、殊ニ左側ニ於テ多シトス、此脈ノ諸支ハ、  
 筋肉支、脊髓支、後脳膜支、後脊髓支、前脊髓支、下小脳動脈是ナリ、

甲 ラミ、モスキュラリス

**A** 筋肉支

モスキュラリス、ハ、數條ノ小支ニシテ、

頭部ニ在リ、即チ脊椎動脈ヨリ起リ、頸椎ノ横突起ニ附着シタル、諸筋ニ散布ス

甲 ラミ、スパイナリス

**B** 脊髓支

ブレハ、イナリス、モ、亦々小支ニシテ、頭

部ニ在リ、即チ脊椎動脈ヨリ起リ、椎間孔ヲ穿過シテ、脊髓及ヒ其被膜ニ散布ス、

乙 ア、メニ、ジ、ア、ポ、ス、テ、リ、オ、ル

**C** 後脳膜支

ポステリオル、メニ、ハ、頭椎ノ第

一片ト、枕骨孔ノ間ヨリ起リ、枕骨孔ヲ穿通シテ、小脳窩ノ厚脳膜ニ入ル、

丙 ア、ス、バ、イ、ナ、リ、ス、ポ、ス、テ、リ、オ、ル

**D** 後脊髓支

ポステリオル、スパイハ、脊椎動脈

ノ頭腔ニ入テ分布スル、第一支ニシテ、脊髓ノ后面ニ下リ、徃々脊髓ノ諸支ノB者ト合吻ス、

丁 ア、セ、レ、ブ、リ、イ、ン、ヘ、リ、オ、ル

**E** 下小脳支

リ、ア、ル、セ、レ、ベ、ハ、尋常ニ支

ニシテ、延髓ノ上部ヲ纏繞シ、小脳ノ下面ニ蔓布ス、

甲 アンテリオル、メジアン、アテリ

〔F〕<sup>甲</sup>前脊髓支 ナンルテアリタル、スパイハ、脊椎動脈ノ最末ノ一支ニシテ、延髓ノ前面ニ於テ、他側ノ同名支ト連結シ、乃チ一幹ト爲リ、迂曲シテ、

脊髓ノ前面ニ下行シ、其部ニ蔓布ス、

乙 ア、バシラリス

基礎動脈 <sup>乙</sup>アバシラリス、ハ、左右脊椎動脈ノ湊合ヨリ成ル者ニシテ、

「グイロリ」橋ノ正中溝ニ位シ、而テ數支ヲ分出ス、其最要ノ支ハ、各相對セリ、即チ

内聽道支、上小脳支、後腦支是ナリ、

甲 ア、オ、ジ、チ、ド、フ、イ、ニ、チ

〔天〕<sup>甲</sup>内聽道支 トインテル、ナール、オージハ、小支ニ

シテ、聽神經ト伴行シ、共ニ内聽道ニ入テ、迷路ニ散布ス、

乙 ア、セ、レ、ル、リ、ド、リ、カ、ル

〔地〕<sup>乙</sup>上小脳支 ラソペル、アル、セレベルハ、橋ノ前部

ニ於テ、外方ニ向ヒ、小脳ノ上面ニ散布ス、

丙 ア、プ、ロ、ヒ、ユ、ダ、セ、レ、ア、

〔人〕<sup>丙</sup>後腦支 ラポスル、アリアル、セル、グハ、基礎動脈ノ

分岐ニシテ、左右ニ離隔シ、各、内頸動脈ノ後結合支ヲ容受シテ、後外方ニ向ヒ、腦脚ヲ廻リ、大

腦后葉ノ下面ニ達シ、細分シテ、後葉ニ蔓布シ、以テ其部ヲ栄養シ、而テ他ノ腦動脈ト合吻ス

此脉經過ノ初ハ、膀胱体後部ノ下ニ於テ、小支ヲ分出セリ、之ヲ〔後脉絡叢支〕ト稱ス、薄腦膜ノ間蓋及ヒ脉絡叢ニ循ル、前腦動脈ハ、前結合支ニ由テ、互ニ結合シ、後腦動脈ト内頸動脈ハ、後結合支ニ由テ連結シ、以テ腦底粘液窩ノ周圍ニ於テ、稜々タル動脈輪環ヲ為ス、之ヲ〔ウエルリス〕氏環〔スウルクリュス〕ト稱ス、此ニ由テ、内頸動脈、脊椎動脈、互ニ相通ス、故ニ其一管閉塞スハ、周腦ノ血液運行ニ至テハ、更ニ障碍アル丁ナシ、

全 甲  
シユス、ウエルリス  
 シユス、ウエルリス  
 アーテリアルヘキヤン

甲  
アキリス、アキリス

第二 甲 狀 軸 テイロイハ、短且ツ大ナル一管ニシテ、前不齊筋ノ近部ニ在リ、鎖骨下動脈ノ前部ヨリ起リ、直チニ分岐シテ、四支ト為ル、即チ下甲狀支、上肩胛支、横頸支、及ヒ上行頸支是レナリ、間又々、其他ニ支出スル丁アリ、又或ハ、諸支皆ナ直ニ鎖骨下動脈ヨリ起ル丁アリ、  
 第三 下 甲 狀 動 脈 ロインドヘアリテリ、イハ、斜ニ普通頸動脈ノ後方ニ上リ、甲狀腺ノ下部ニ達シテ分布ス、又々別ニ數支ヲ分出シテ、氣管、喉頭、及ヒ食道等ニ循ル、此支、往々上甲狀動脈ト合吻ス、

第四 上肩胛支 ソ、プ、アラ、スカ、ピ、ユ、ラ、ハ、鎖骨ノ後部ニ在テ、外方ニ向ヒ、胸骨乳頭筋ト、不齊筋ノ間ヲ過キ、肩胛ノ上縁ヲ越ヘ、棘上窩ニ循リ、肩胛骨ニ密接シ、殊ニ棘上筋ニ散布ス、其經過中ニ、大小支ヲ分出シ、其小支ハ、肩頭ノ皮下ニ循リ、大支ハ、肩胛頸ノ後部ニ下テ、棘下筋ニ循ル、ハ、前支ニ至リ、或此支ハ、間鎖骨下動脈ヨリ、直チニ起ルコトアリ、或ハ、其支別ヨリ起ルコトアリ、又時トシテハ、腋下動脈ヨリ起ルコトアリ、

第五 横頭支 タ、ラ、ン、ス、ウ、エ、ル、ス、セ、ル、ハ、前支ノ稍ヤヒカ、カ、ール、ア、ール、テ、リ、

甲 アトラス、ス、エ、ル、ス、コ、ル、リ

上外方ニ併行シ、僧帽筋下ニ在リ、不齊筋、及ヒ上臂神經叢ト交叉シ、進テ肩胛骨上角ニ至リ、分テ二支ト為ル、即チ表頭支、後肩胛支是ナリ、

天表頭支 ヒ、ソ、カ、ペ、ル、ヒ、シ、ア、ール、セ、ル、ハ、上方ニ向

ヒ、僧帽筋ノ外縁下ヲ過キ、其筋及ヒ肩胛角舉筋、胸骨乳頭筋、近隣ノ水脈腺、皮膚等ヲ榮養ス、此支、屢、上行頭支ノ分支ナルコトアリ、

地後肩胛支 ホ、ス、テ、リ、オ、ル、ス、カ、ヒ、ユ、ラ、ール、ア、ール、テ、リ、ハ、肩胛骨ノ基

礎部ニ沿ヒ、菱状筋下ニ下行シ、其筋、及ヒ大鋸筋、濶背筋等ニ循リ、上肩胛支、及ヒ下肩胛支ト

乙 アッ、ペ、ル、ヒ、シ、ア、ル、ス、セ、ル、ヒ、キ、ス

丙 ア、ス、カ、ヒ、ユ、ラ、ス、ホ、ス、テ、リ、ス

甲 アセルトカリス、アスセシテマ

第六<sup>甲</sup>上行頸支 カアスセル、アンデテ、セルヒハ、小支ニシ

テ、甲狀軸、或ハ下甲狀支ヨリ起ル、間又々他支ヨ

リ起ルコアリ不齊筋起根ノ前部ヲ過キ、其筋及

ヒ近隣諸筋、及ヒ水脈腺等ニ分布ス、

第七<sup>乙</sup>内乳動脈 マイリンテアルナテ、ハ、甲狀軸ニ

對向シテ、鎖骨下動脈ヨリ起リ、鎖骨ト肋骨ノ後

部ヲ下リ、胸骨ノ側傍ニ沿ヒ、胸骨ノ下端邊ニ達

シ、分歧シテ、筋橫膈支、及ヒ上上腹支ト為ル此脈、  
分支及ヒ末梢ハ、即チ<sup>イ</sup>縱膈支、<sup>ロ</sup>上橫膈支、<sup>ハ</sup>穿貫支、<sup>前</sup>

乙 アママリ、アインテルナ

甲 アメシ、アスチニカ

肋間支、筋肉橫膈支、<sup>上上腹支</sup>是レナリ、

<sup>イ</sup>縱膈支 ルメ、アジ、アステリ、ハ、數條ノ小支ニシ

テ、前縱隔洞ノ諸部、即チ膺腺、氣管支、心囊胸膜、

胸肋筋、及ヒ胸骨等ヲ榮養ス、

<sup>ロ</sup>上橫膈支 ニソ、ペリオル、プレ、ハ、纖小ナル一支

ニシテ、殆ト絲ノ如シ、橫膈神經ト共ニ、下行シ

テ、橫膈ニ循ル、  
<sup>ハ</sup>穿貫支 ン、アルホテリ、ハ、五支、或ハ六支ニシ

テ、同數ノ上位肋間ヲ、胸骨側傍ヨリ透過シ、大

胸筋ノ根蒂、及ヒ近隣ノ皮膚等ヲ榮養ス、此脈、

丙 ママリ、アテリ、  
ア、ベルホラシテス、エト、マ  
ムマリ、ア、エキステルナ

乙 ア、ベリカル、シ、プレニカア

甲

アインテルコスタリス、ア  
ンテリオリス

婦人ニ在テハ、中間ノ三支、或ハ四支、男子ヨリ  
モ巨大ニシテ、乳房ニ蔓布シ、以テ榮養ス、故ニ  
哺乳中ハ、頗ル増大セリ、

二前肋間支

アンテリオル、アインテルコ  
スタリル、アインテルコ  
ハ、尋常、

毎肋間ニ二支アリ、共ニ内乳動脈ヨリ起リ、或

ハ前支ト侶合シ、或ハ互ニ相離隔シテ、外方ニ

向ヒ、上位ノ五肋、或ハ六肋間ニ進ミ、大動脈ノ

肋間支ト合吻シテ、肋間筋、胸筋、乳房腺、及ヒ皮

膚等ヲ榮養ス、

ホ筋肉横膈支

モスキュロ、プレニ  
キ、アインテルコ  
ハ、内乳動脈ノ

モスキュロ、プレニカ

甲

アインテルコスタリス、ア  
ンテリオリス

末梢分岐ノ外支ニシテ、下外方ニ向ヒ、諸季肋  
軟骨ノ後面ニ在テ、最季肋間ニ彎曲ス、其經過  
中ニ、數支ヲ分出シテ、下位ノ五肋間、横膈附着  
部、及ヒ腹筋等ニ循ル、

へ上上腹支

トリッピキ、アイン  
テルコスタリル、  
ハ、内乳動脈

ノ連支ニシテ、直筋後ノ腹壁ニ下リ、特ニ其筋

ニ分布シ、外腸骨動脈ノ上腹支、及ヒ他ノ腹壁

榮養支ト合吻ス、

第八上肋間動脈

ソパペリオル、アイン  
テルコスタリル、  
ハ、鎖骨

ノ後方ヨリ起リ、第一肋ノ頸前ヲ下リ、分岐シテ

アインテルコスタリス、ア  
ンテリオリス

甲  
ア、フ、ロ、ヒ、ン、ダ、セル、ヒ、キ、ス

二支ト為リ、肋間ノ第一對ヲ榮養ス、

第九甲深在頸支カ、フ、ロ、ヒ、ン、ダ、セル、ヒ、キ、スハ、

合シテ、共ニ鎖骨動脈ヨリ起リ、頸椎第七片ノ横

突起下ヲ過キ、頸ノ後部ニ達シ、横突起ト棘状突

起ノ間ヲ上リ、其部ノ筋ヲ榮養ス、

（五）五頸支カ、フ、ロ、ヒ、ン、ダ、セル、ヒ、キ、スハ、

頸ノ五頸椎ニ出テ、

中ノ五支ト分出テ、

其部ノ筋ヲ榮養ス、

解剖訓蒙卷之十終

